



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月14日

上場会社名 株式会社ギガプライズ 上場取引所 名
 コード番号 3830 URL <http://www.gigaprize.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 檀野 敬
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部 (氏名) 木村 賢治 (TEL) 03-5459-8400
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,408	1.9	39	△34.9	37	△32.9	17	△34.9
24年3月期第3四半期	1,382	5.9	60	△13.0	55	△25.6	27	△41.3

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 5百万円(△78.8%) 24年3月期第3四半期 27百万円(△41.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1,406.79	1,401.41
24年3月期第3四半期	2,157.74	2,153.35

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	1,119	662	58.1
24年3月期	1,264	645	51.0

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 650百万円 24年3月期 645百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	-	-	1,000.00	1,000.00
25年3月期	-	-	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	1,000.00	1,000.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,200	12.5	163	27.9	160	28.6	86	25.3	6,750.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) アイ・シンクレント株 除外 社 (社名)
式会社

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年3月期3Q	14,110株	24年3月期	14,106株
② 期末自己株式数	1,371株	24年3月期	1,371株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	12,736株	24年3月期3Q	12,763株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	4
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	4
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	6
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	10
四半期連結包括利益計算書	11
(3) 継続企業の前提に関する注記	12
(4) セグメント情報等	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による大型補正予算案の提出や日本銀行のインフレ目標導入など、デフレ脱却と景気回復に向けた経済政策が打ち出されており、復興需要の継続や補正予算に伴う公共投資の実施効果によって企業マインドの改善が期待されております。また、海外では、米国における財政の崖回避やFRBによる金融緩和も好材料となっております。

他方、消費税率引き上げや復興増税など家計費負担の増大による個人消費への影響は大きな懸念材料となっております。

このような状況下で、HomeIT事業におきましては、マンション業界における供給戸数増と相俟って、マンション向けISPの新規分譲マンションにおける契約数を回復させることができ、さらに賃貸マンション向けの営業を強化した結果、サービス戸数を増加させることができました。また、将来のサービス戸数の拡大に向けて、不動産管理会社との提携や代理店の開拓を進めるとともに、首都圏に集中していたエリアを全国に展開してまいりました。その結果、更なる事業拡大に向けた投資として人員の増強と拠点の整備等も先行して進めたことから、販売費及び一般管理費も増加し、前年同期と比較してセグメント利益は減少したものの、同事業の売上高、売上総利益は順調に増大しております。

システム開発事業につきましては、企業等の情報化投資は依然として抑制傾向にあり、顧客の値下げ要求も根強いなど、引き続き厳しい経営環境が続いておりますが、既存顧客との取引拡大に注力するとともに、グループ内にリソースを集中した結果、売上高は前年同期と比較して減少しておりますが、外注費の抑制や業務効率化に取り組んだことから、セグメント利益は改善いたしました。

また、当社子会社である㈱ESPにおいても、3期目をむかえ不動産管理会社向けソフトの導入が順調に推移し、大きく貢献しております。

さらに、新規事業への取り組みとして平成24年6月29日付けで株式を取得いたしました、アイ・シンクレント㈱においても、平成25年1月より、業界初となる既存クレジットカードを利用した民間賃貸住宅向けの賃貸家賃収納サービス及び家賃保証業務を本格的に開始いたしました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における経営成績は売上高1,408百万円(前年同期比1.9%増)、営業利益39百万円(前年同期比34.9%減)、経常利益37百万円(前年同期比32.9%減)、四半期純利益17百万円(前年同期比34.9%減)となりました。

セグメント別の状況は次のとおりであります。

① HomeIT事業

マンション向けISP事業につきましては、新築分譲マンション向けのサービス契約数は、国内分譲マンションの竣工数の回復とともに増加し、さらに、昨年より営業を強化しております小規模賃貸マンション向けのサービスが順調に推移し、前連結会計年度末と比べ契約数の大幅な増加を実現いたしました。一方、サービス提供中マンションにおいては、回線品質向上工事の実施並びにサービスメニューの強化等、利用者サービスの充実を図った結果、解約数を減少させることができ、当第3四半期連結累計期間におけるサービス戸数は前連結会計年度末に比べ5,021戸増の38,053戸となりました。

今後につきましては、引き続き不動産管理会社との提携や代理店開拓を強化していくとともに、連結子会社㈱ESPやアイ・シンクレント㈱との更なる連携を図り、住環境向けサービスの拡充と相互でのサービス販売など、グループシナジーを発揮すべく営業活動に取り組んでまいります。

ネットワーク事業につきましては、サーバ等のレンタルを行うホスティングサービスやネットワーク機器やサーバの運用・監視を行うマネージド・サービス・プロバイダー(MSP)サービスを行うな

ど、堅調に推移いたしております。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、1,042百万円(前年同期比12.0%増)となりました。

② システム開発事業

システム開発事業につきましては、引き続き厳しい経営環境が続いておりますが、グループ内にリソースを配置し、将来の成長に向けた新規サービスの開発に取り組んでおります。また、外注費の抑制や業務効率化に取り組み収益改善に努めてまいりました。

また、当社子会社の㈱ESPが保有する不動産賃貸管理ソフトウェアの販売を強化するとともに、不動産業界向けのシステム開発やネットワークサービスの提案を積極的に進めてまいりました。

こうした事業活動の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、342百万円(前年同期比20.3%減)となりました。

③ その他事業

その他事業につきましては、連結子会社アイ・シンクレント(株)における賃貸家賃クレジットカード収納サービス及び家賃保証業務の立上げに伴う投資が先行しておりますが、人材派遣等を行った結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は、23百万円(前年同期比11.5%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における資産につきましては、現金及び預金が181百万円減少、受取手形及び売掛金が54百万円減少、たな卸し資産が18百万円増加し、流動資産合計は、前会計年度末に比べ188百万円の減少となりました。また、固定資産合計は、前会計年度末に比べ43百万円増加しました。その結果、資産合計は前連結会計年度末に比べ144百万円減少し、1,119百万円となりました。

負債につきましては、流動負債では支払手形及び買掛金40百万円の減少、固定負債では長期借入金111百万円減少しました。その結果、負債合計は前連結会計年度末に比べ162百万円減少し、456百万円となりました。純資産合計につきましては、662百万円となりました。

この結果、自己資本比率58.1%となっております。

② 資金の源泉

当第3四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物は、資産合計の41.2%を占める461百万円であり、当該残高に加え、未使用の借入枠を勘案すると、将来の予測可能な運転資金及び資本的支出等の資金需要に対して十分な財源が存在すると考えております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績につきましては、平成24年5月14日付当社「平成24年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」にて発表いたしました予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

平成24年6月29日にアイ・シンクレント株式会社の株式を取得したことに伴い、連結子会社となりました。

この結果、当社の企業集団は、当社、親会社2社及び連結子会社2社の5社で構成されることとなりました。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ増加しておりますが、その影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	642,327	461,254
受取手形及び売掛金	330,476	275,888
仕掛品	16,601	37,948
原材料及び貯蔵品	10,786	7,772
その他	26,132	54,341
貸倒引当金	△7,952	△7,067
流動資産合計	1,018,371	830,137
固定資産		
有形固定資産	136,651	135,466
無形固定資産		
のれん	69,545	60,200
その他	24,219	62,448
無形固定資産合計	93,765	122,649
投資その他の資産	15,617	31,393
固定資産合計	246,033	289,509
資産合計	1,264,405	1,119,646
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,559	49,378
1年内返済予定の長期借入金	161,736	139,611
リース債務	—	665
未払法人税等	31,403	8,675
資産除去債務	—	7,418
その他	72,363	76,237
流動負債合計	355,062	281,986
固定負債		
長期借入金	254,324	164,646
リース債務	—	2,162
退職給付引当金	4,820	8,079
資産除去債務	5,147	—
固定負債合計	264,291	174,888
負債合計	619,353	456,874

株式会社ギガプライズ(3830)平成25年3月期第3四半期決算短信(連結)

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	192,160	192,260
資本剰余金	112,355	112,455
利益剰余金	454,390	459,572
自己株式	△114,196	△114,196
株主資本合計	644,709	650,091
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	342	284
その他の包括利益累計額合計	342	284
少数株主持分	—	12,396
純資産合計	645,052	662,772
負債純資産合計	1,264,405	1,119,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	1,382,556	1,408,984
売上原価	1,021,244	948,664
売上総利益	361,312	460,320
販売費及び一般管理費	300,888	420,988
営業利益	60,423	39,331
営業外収益		
受取利息	247	207
貸倒引当金戻入額	14	947
その他	54	30
営業外収益合計	317	1,186
営業外費用		
支払利息	3,311	2,746
訴訟関連費用	1,200	—
その他	314	278
営業外費用合計	4,825	3,025
経常利益	55,915	37,491
特別損失		
事務所移転費用	1,525	993
特別損失合計	1,525	993
税金等調整前四半期純利益	54,390	36,498
法人税、住民税及び事業税	25,555	35,215
法人税等調整額	1,295	△4,619
法人税等合計	26,850	30,595
少数株主損益調整前四半期純利益	27,540	5,903
少数株主損失(△)	—	△12,013
四半期純利益	27,540	17,917

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	27,540	5,903
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	△57
その他の包括利益合計	12	△57
四半期包括利益	27,553	5,845
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27,553	17,859
少数株主に係る四半期包括利益	—	△12,013

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	931,410	429,666	1,361,077	21,479	1,382,556
計	931,410	429,666	1,361,077	21,479	1,382,556
セグメント利益又は損失 (△)	116,057	△58,818	57,239	3,183	60,423

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、派遣事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	57,239
「その他」の区分の利益	3,183
四半期連結損益計算書の営業利益	60,423

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「HomeIT事業」セグメントにおいて、平成23年12月1日に株式会社ユーネットワークスよりUserver.jp事業を吸収分割により取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において23,108千円でありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	HomeIT事業	システム開発 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,042,809	342,273	1,385,083	23,901	1,408,984
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,689	55,292	57,982	—	57,982
計	1,045,499	397,566	1,443,065	23,901	1,466,967
セグメント利益又は損失 (△)	61,435	17,110	78,546	△39,215	39,331

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント等であり、派遣事業並びに賃貸家賃クレジットカード収納サービス及び家賃保証業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	78,546
「その他」の区分の損失	△39,215
四半期連結損益計算書の営業利益	39,331

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「その他」セグメントにおいて、平成24年6月29日にアイ・シンクレント株式会社を第三者割当増資により取得しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間において13,043千円でありませぬ。